

### 第3回 YCE 委員会会議議事要録

- ◎日時 2021年11月18日(木) 16:00～18:00  
◎会場 熊本市 ザ・ニューホテル熊本  
◎出席者 L北 由美子 L岡 秀昭 L宮迫 忠三 L田口 常夫 L吉井 本  
オズバー PID L吉田 憲史 議長 L古川 隆 前議長 L森口 孝行  
第2副地区ガバナー L伊藤 竜彦 元キャビネット幹事 L早田 勝之

委員長議事録署名

北 由美子

#### ◎要 録

- ◇委員長はじめのあいさつ L 北 由美子  
◇議長あいさつ L 古川 隆  
◇前議長あいさつ L 森口 孝行  
◇日本ライオンズ YCE 委員会報告

北委員長より報告があった。

①2022年度夏期交換については11/25日本ライオンズ常任理事会の承認後、各地区キャビネット、海外担当窓口への連絡を行うことを確認した。

②交渉窓口について、MD334が事務局員の退職に伴い、現在29ヶ国を3ヶ国に絞り、交渉していくとの報告があったため、各MDへ別添資料にあるようにいくつかのプランが提案され、各MDで協議することとなった。

③交渉担当窓口契約書について、現在ヨーロッパと東マレーシアの契約書(要項)しかないため、不測の事態に備える意味でも必要性があると話し合わせ内容については各MDで参考資料を基に協議することとなった。

\*MD334の要領をベースに各複合担当窓口によって必要に合わせアレンジするのが良いということが申し合わされた。

④ラベルピン・ピンバッチと制服について

在庫を各地区確認し、必要であれば後日送付される注文用紙に記載し、手順に沿って注文を取る。(資料あり)

\*MD337として、ラベルピンは必要なしとし、ピンバッチについては必要に応じ各地区より発注(申し込み書が届く)することが申し合わされた。

⑤次回は12月6日(月)日本ライオンズに於いて対面で開催される。

#### ◇審議事項

##### 1. 交渉担当窓口について

① 上記②にあるように、プランについて協議した結果、プラン①で、MD337として数か国希望を出すこととした。

フランス、クロアチア、トルコで希望することを申し合わせた。

MD334のような事案はどこのMDでも起りえることである。日本ライオンズでの一極集中案を進めていただく事が必要である。

日本ライオンズ自体が赤字経営の中、一極集中が可能なのかとの疑問が上がった。

古川議長より、執行理事会で話を出していただくことになった。

## 2. 夏期キャンプサポート研修について

- ① 現在レオ・YCES サポーターについては各地区から名簿がまだ上がってきていないため、各地区の進捗状況が報告された。  
\*12/20までに複合事務局に名簿を提出することが申し合わされた。
- ② コロナワクチン接種状況を確認した。  
2月にコロナ状況が落ち着いていることを前提に、  
\*ビジネスホテル1部屋/1人での宿泊とすることを申し合わされた。
- ③ 2年前の夏期キャンプに準じ、キャンプの研修会として充実したスケジュールにする。
- ④ ガバナー協議会宛に案内を出す。

## 3. Web 交流について

- ① 12月開催予定だったが、キャンプサポート研修後開催することとする。
- ② 日程等は研修会時に決めてもらう。

## 4. 2023年夏期来日生キャンプについて

### A 地区岡委員長より説明があった。

- ① 地区委員会でいくつかの候補地を決定する予定である。
- ② 今期流れをつくり、引継ぎの時には選定した場所の視察を兼ねて開催したい。

## 5. その他

- \*11/17 第2回定例会議にて久田ガバナーから出た要請について、今後 YCE 委員会への誤解のないよう、各委員からガバナーに、①旅費は個人負担であること②委員会内容をしっかり報告することが申し合わされた。
  - ・ YCE 委員会開催については、C 地区 L 田口より、地区会議にて報告をし、了承いただいた報告があった。
- \* キャンプが開催されない場合、その年は YCES のサポートを継続させるためにも YCE 事業費 185 万円以内で、キャンプサポート研修会をキャブ開催地にて開催することを申し送ることが決定した。

次回の開催は 12 月 20 日 (木) に 13 : 30 ~ 15 : 30 に Web で開催する。

1 月の開催は古川議長のご了承・ご出席のもと、キャンプ研修会の視察を兼ねて鹿児島で開催する。旅費は**個人負担**とすることが申し合わされた。